

モーター AD EXPOコンテンツ (★10/20 13:00～17:00)

パート	タイトル	概要	講師
本業支援	ヤマダデンキが掲げるEV戦略 ～モーターの皆さまとともに取り組むこと～	“家電量販店”であるヤマダデンキは、新たにEV業界に参入しています。EVを「21世紀の新しい家電」と位置づけ、新たな発想とサービスの融合を実現すべく、EV販売・整備を中心に、周辺事業であるバッテリーチャージング、スマートハウスなど、次世代モビリティビジネスの構築を綿密に準備してまいりました。お客さまに「EVのワンストップサービス」をご提供する“ヤマダのEV戦略”と、地域のモーターの皆さまとともに取り組むべきことをお伝えします。	株式会社ヤマダホールディングス 法人事業部 カー営業部 部長代理 金子 哲治
	車検から車販・保険獲得に繋がる コミュニケーションツール「gnote」	今後の自動車業界で生き残り、発展していくためには、車検を軸にして車販・保険に繋げていく生涯顧客化が欠かせませんが、限られた人員で生産性高く売上・利益を拡大するには、顧客の管理方法や案内手段を従来とは根本から見直す必要があります。インターゾーンでは自動車業界の未来を見据え、全国3000店舗で導入されている「gnote」の大幅リニューアルを進めています。どういった未来が実現できるのか、これまで未公開の情報を中心にお伝えします。	株式会社インターゾーン 取締役 事業開発部 部長 戸張 真哉
	モバイルサインージ「車検・12ヶ月点検版」 (タブレット端末対応型)	車検見積もり時などで起こるユーザーからの、「なぜ交換する必要があるの?」や「金額が高いのはなぜ?」などの疑問を解決するためのツールです。例えば、バッテリーの項目をタッチすると、交換の必要性、そのまま放置した場合のリスクについて、動画が説明してくれるというもの。全35種類の動画(約30秒)にくわえ、車検や12ヶ月点検とは?の動画も装備されています。	株式会社エーティーティ 代表取締役社長 波多江 圭助
	「グー故障診断」活用による整備のDX化 ～新規集客と作業単価アップについて～	「グー故障診断」は、ユーザーの車の状態を「グーネット掲載店」で診断を行うサービスです。国交省の「故障・整備データ等の収集・検討状況について」の調査では約4割の車に故障データが出たと報告されています。「グー故障診断」は車載式故障診断装置(OBD)を活用した診断サービスで、ユーザーの保有する車の状態が一目でわかる診断書の発行が可能となります。今後マーケットが縮小する中で、業績向上に必要な顧客・売上増加のポイントをお伝えします。	株式会社プロトコーポレーション 第4事業部 課長 松木 憲一
保険	テレマティクス自動車保険を本業に活かす	～あらたなステージを迎える当社のテレマティクス～ テレマティクス自動車保険を「地域社会の未来を変える」自動車保険へとステージを押し上げ、「お客さま」と「社会・地域」双方の安心の循環と高付加価値機能・サービスの体感・共感・共鳴を起点とした推進を図ってまいります。	あいおいニッセイ同和損保 大木 淳
経営支援	＜第一部＞ お客さまから信頼される工場経営のあり方 ＜第二部＞ 新たなモビリティ・ツールの利活用のご紹介	＜第一部＞ さまざまな社会情勢の変化を受けて、整備工場の在り方も変化しています。“お客さまに選ばれる整備工場”のポイント、今後取り組むべきことを自動車研究所の研究者がお伝えします。経営者の皆さまはもちろん、工場責任者の皆さまにもご視聴いただければと思います。 ＜第二部＞ 自動車研究所では22年度より“地方創生”に資する取組みとして、ドローンを始めとした自動車以外のモビリティの取扱いを開始しています。今般、新たにシニアカーの取扱いを開始しましたので利活用についてご紹介いたします。(8/4日刊自動車新聞掲載：右記事) 大切なお客さまに販売いただくことで手数料収受のメリットもご紹介します。	株式会社あいおいニッセイ同和 自動車研究所 首席研究員 伊藤 和宏 執行役員部長 藤本 和也
	設備導入支援サービス「ネクシィーズ・ゼロ」	ネクシィーズでは、店舗や施設に関わる最新省エネ設備を「初期投資ゼロ」で導入できる仕組みの提供を通じて、企業における電気代やCO2削減などの“省エネ化”を積極的に推進しています。店舗の施設・設備をリニューアルし、高騰する経費の削減対策として多くのモーター/ディーラーの皆さまにご採用いただいているサービスをご紹介します。	株式会社ネクシィーズ 本社営業部 部長 浅沼 嘉偉